

STEP6
Season2
集大成

いよいよ本番、模擬議会当日
課題解決へ女性議員ら提言
8つのテーマで議論

8月11日、加西市初となる一般公募で集まった受講生8名が参加した女性議会が市議会議場で開かれました。「新病院建設の課題」や「観光促進施策」「高齢者施策」など8つのテーマで、市長や各所属部長らを前に質問に立ち、課題解決のアイデアを提言。本物さながらに答弁を繰り返しました。当日の質疑の一部を紹介します。

議席	議員名	主な質問内容
1	一矢 慶子	sora かさい、鵜野飛行場跡戦争遺跡
2	湯浅 かおる	新病院建設の課題
3	橋本 真由美	災害時における市の対応
4	霜浦 恭子	観光促進施策
5	馬渡 友樹子	市役所職員の人材育成
6	森 由紀	高齢者施策
7	高橋 由枝	子育て応援5つの無料化
8	久川 摩耶	学校給食

登壇し質問をする一矢慶子さん

身近な問題を答弁

8人の女性議員がそれぞれ関心のあるテーマで市政にかかわる質問を考えてきました。市側も、市長はじめ副市長、教育長、各所属部長も加わり市議会の一般質問と同様の答弁態勢を取りました。午前9時30分に開会。途中休憩をはさみ約3時間、さまざまな質問や提言がありました。



子どもも参加しての議会。真剣な表情で聞き入る(上) 議会の合間に子どもをあやす姿も(下)



議長を務めた湯浅さん。「初めて？」と思える進行ぶり

8人の女性議員がそれぞれ関心の地産地消化の確保や、「sora かさい」を拠点とした観光事業の到達目標についての施策、建設予定の道の駅の経済効果などを市当局に質問。市側は、観光事業は情報発信をはじめ女性目線が重要であるとの考えを示し、観光誘客数を伸ばすためにも、女性議員たちに協力を求めました。



傍聴席もいっぱい。関心の高さが伺える

模擬議会を終えて

12時30分、加西市女性議会が開会しました。すべての質疑を終え、議長を務めた湯浅かおるさんは「男女格差をなくしたい思いが強く、年齢制限を超えていたが入塾しました。今回議長をして、皆さんの加西に対する熱い思いを改めて聞くことができ感動しました」。橋本真由美さんは「入塾して、自分の思いをどう伝えるか勉強してきました。今日議場で答弁してみても、自分なりに思いもしつかり伝えることができたと感じます。良い経験ができて感謝しています」とそれぞれ感想を述べました。

男女共同参画アドバイザーとして、受講生たちと歩んできた村和子さんは「自分たちの思いをしっかり伝えられたと思います。市長さんをはじめ、各部長さんもセミナーに参加してくださいました。これは加西だけです。市が後押しして下さったお陰で今日を迎えることができ感謝しています。今後の彼女たちが楽しみです」と話しました。

最後に、民輪教育長が閉会のあいさつで「女性教育長は私が初めてです。市幹部も男性ばかりで就任当初はびっくりしました。女性はいないんだなと。今回の事業をきっかけに、この中から女性議員が誕生することを期待しています」とエールを送りました。

「8人の中から議員が誕生することを期待」



PICKUP! 答弁!
「子育て支援5つの無料化」



発言通告に基づき一般質問をさせていただきます。5つの無料化についてですが、財源確保の見直しについてお聞かせください。

高橋 由枝さん

財源確保のためにふるさと納税を積極的に受け入れている。昨年は寄付者の約24%が「子育て支援の充実や教育環境整備に関する事業」の用途を選択されており、約7億7千万円を子育て支援等に資する事業に活用する予定です。



西村市長

人口減を食い止めるため、この政策によって転入見込みについてお聞かせください。



加西市が目指しているのは、若い世代の出産・子育ての希望をかなえられる環境の整備です。転入も大事ですが、今住んでいる若い世代が加西市の子育て環境に魅力を感じ、住み続けることが重要と考えています。



加西市の出生数は、コロナ禍の影響等も受け、令和2年度は190人、3年度は174人と減少傾向にあり、持続可能なまちを目指すには、一刻も早く若い世代の出産・子育ての希望をかなえる必要があります。また、ふるさと納税の寄付者の意向を踏まえつつ、この大きな財源を活用して子育て支援の環境整備を行い、「加西市で産んでよかった加西市で子育てしてよかった」と思ってもらえるまちづくりをしていきます。



人とのつながりをもっと持てるような場を広めていって頂ければより良い子育て環境につながると考えております。ありがとうございました。これで一般質問を終わります。